

## オーディオ実験室収載

### ヴォリュームアキュライザーの導入(8) —しなの音蔵オリジナルプリアンプへの適用—

#### 1. 始めに

今回は、第二リスニングルームの、しなの音蔵オリジナルプリアンプに適用してみます。

#### 2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

今回は、下記システムを使用して、CDの音源でVRA-7の効果を確認します。第二リスニングルームの最近の状況は、[第二リスニングルームの整備\(6\)](#)で報告しています。このプリアンプのヴォリュームにはfoQシートを貼ってありましたので、それを剥がしてVRA-7を貼ります。

SWD-CT10→SWD-DA20→しなの音蔵オリジナルプリアンプ→LUX A-3000→  
TANNOY Arden

LUX A-3000のヴォリュームは全開とし、音量調整はプリアンプで行います。プリアンプの後続ステージに、パワーアンプにもヴォリュームがありますので、果たして効果が現れるかどうかポイントです。なお、A-3000の出力管はGECのKT88に差し替えています。



音源は、下記の CD を選定し、城下工業の CD トランスポートと DAC 経由での再生です。

**Harumonia mundi HMM925296**

ベートーヴェン ピアノと管楽器のための 5 重奏作品 16  
アンサンブルディアローギ

**Evidence EVCD015**

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1  
フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)  
グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

**ナクソス・ジャパン KCD-2078**

モーツァルト ソナタ第 10 番ハ長調他  
稲岡千架

**DECCA UCDD9824**

バッハ 無伴奏ソナタ・パルティータ  
アルトゥール・グリュミオー

**3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7 の試聴結果**

LUX の A-3000 (KT88pp) で TANNOY の Arden を駆動した時の音は、おおおらかで悠揚迫らざるところが身上ですが、少し大雑把なところも残っています。

このプリアンプのヴォリュームに VRA-7 を貼りますと、ベートーヴェンのピアノと管楽器のための 5 重奏とチェロソナタは、演奏会で聴いていますが、一言でいうと、その時の印象に近づいた感じです。

ピアノとピアノフォルテは、粗いところが取れて音が引き締まってきます。チェロは細かい音もでて滑らかになり、引き締まってきますし、古楽器の管楽器群はその質感がリアルになります。

モーツァルトのソナタでは、粗さが取れてベッヒシュタインらしい優雅なピアノになります。

バッハの無伴奏ソナタは、グルミヨールのヴァイオリンの透明度が上がり、細かい音色が出るようになり、ボウイングの様がリアルになります。

**4. まとめ**

しなの音蔵オリジナルプリアンプのヴォリュームに VRA-7 する効果を認めました。このプリアンプは、フォノ入力もありますのでアナログ再生でも試してみたいところです。

以上